

平成 28 年 9 月 13 日

各 位

木津の文化財と緑を守る会
会 長 岩 井 照 芳

茶粥の昼食会について

拝啓 初秋の候皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、木津川市や相楽郡の歴史や文化は山城国でありながら、古代から近代にかけて大和国と深く関わっており、共通の歴史や文化が多いことを認識しなければなりません。その上で、この地方の歴史や文化を考えないと間違った解釈が生まれます。

このことは、非常に大事なことです。例えば古代の物流ルートの水運や道路、特に道路は古代都城（藤原京・平城京・恭仁京）の都市計画に係わる重要なことです。また、恭仁宮の名称も同様です。中世になりますと興福寺の支配（武士と土地と渡し）等の歴史、江戸時代の主要産業である奈良晒（木津晒）し等々、食文化・方言、祭り、寺社の本末まで歴史・文化の繋がりは多々あります。

しかし、木津川市や相楽郡の歴史や文化を考えると、このことを踏まえて考えることが少なくなってきたと感じています。これらの重要な認識を蘇らせるため、その一つである食文化に茶粥があることを皆様に知って頂きたく今回の企画をいたしました。

茶粥は団塊の世代が子供のころには、朝食に茶粥を食べて小学校に行くことが当然であったのですが、現在は茶粥を食べる習慣はほとんど残っておりません。

そこで、大和と共通の食文化である「茶粥とは」如何なるものかを知るため、茶粥を食べて味わい、茶粥に関する座談会・講演会を開催致します。近年移住の方は全く知らない食文化ですが是非ご参加下さい。初めての催事ですので当会会員だけを対象とした企画です。

記

日 時 : 平成 28 年 10 月 9 日 (日) 11:30 (受付開始)

昼食時間 : 12:00 ~ 12:50 (昼食の間に食べ終る)

場 所 : 東部交流会館

参加資格 : 守る会会員 と (ご希望であればご家族あと一人参加できます)

募集人数 : 30 組 60 名 (申込書には参加者住所・電話・氏名を二人ともご記入下さい)

申込先 : FAX 0774 (72) 0014 (木津の文化財と緑を守る会)

申込締切日 : 10 月 1 日 (土) 先着順に受け付けします

参加料 : 300 円 (一人分) キャンセルでも参加費 300 円は頂きます

座談会 : 13:00~14:00 ①なぜ茶粥昼食会を開いたか ②茶粥の炊き方
③茶粥の思い出話 (講演会中止の場合は座談会を充実させます)

講演会 : 14:00~15:00 現在講師と交渉中ですが中止の場合もあります

演 題 「仮題 茶粥の文化」

講 師 未 定 先生 (大学)